

IDE アレイコントローラをご使用にあたり

本書は、弊社 IA サーバ GRANPOWER5000/PRIMERGY において、IDE アレイコントローラを使用する際の注意事項を記述しております。本製品をご使用になる前に必ずお読みください。

Synchronize（一貫性チェック）処理に関する依頼事項 (一貫性チェックの定期実施について)

一貫性チェックは、一貫性の検査だけでなく、ハードディスクの媒体エラーを自動的に修正する機能もあります。一貫性チェック処理を定期的の実施し、媒体エラーを早期に修正することをお勧めします。

☞ IDE RAID 管理ツール更新時、毎日午前0時に、一貫性チェックが開始される様に設定されます。実行間隔、開始時間を業務に支障の無い時間に変更願います。なお、一貫性チェック処理に要する時間は無負荷状態で約1時間です。しかし、ディスクアクセスが頻繁に行なわれると一貫性チェックの時間が長くなりますので、できるだけディスクアクセスの少ない時間帯に実施するように設定してください。

Synchronize（一貫性チェック）処理に関する留意事項 (デバイスドライバの不具合について)

一貫性チェック (Synchronize) 処理時、誤って不一致 (Comparison Error) が報告される場合があります。不一致が検出された場合、以下の対処をお願い致します。

- 1) 再度、一貫性チェックを実施してください。(1日1回の定期実行設定の場合、翌日実施)
- 2) 不一致が報告された LBA(セクタ)を比較してください。
- 3) 同一 LBA で不一致が報告されていないならば、誤通知です。問題ありませんので、そのままご使用ください。

異常発生ディスク表示に関する留意事項 (IDE RAID 管理ツールの不具合について)

ディスクに異常が検出された場合、異常発生ディスクに関する情報がメッセージボックスに表示される、あるいはログに格納されます。この際、ディスク接続場所(MASTERあるいはSLAVE)として VOLTAGE と表示される場合があります。表示だけの問題であり問題ありませんので、VOLTAGE を MASTER と読み替えていただく様、お願い致します。

なお、GRANPOWER5000/PRIMERGY では、IDE RAID に接続されたディスクは常に MASTER として使用します。